

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 11 日

事業名称		国際交流事業費 [通訳交流員派遣事業]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 12	地域振興費	事業番号	3			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	地域振興 課 市民協働・消費（市民協働） 係					課長名	石川正憲				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	5 - 4				
【施策名】 地域を越えたパートナーシップの確立						総合計画書 (ページ)	113				
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）							
	市の区域内で生活する外国語を母国語とする住民			→ 外国籍市民（各年4月1日現在）							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）							
	言語を理由にした行政サービスに関する情報の不均衡を解消する。			→ 行政サービスの情報取得・サービス提供を受けた外国人住民							
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
	①外国語通訳交流員派遣 ②ボランティア保険加入			→ ①派遣紹介回数 ②加入人数							
3 経費	事業費（実績）		円	12,500	10,500	10,500	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,250,000円 時間単価は、 4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	12,500	10,500	10,500					
		特定財源（国・都・他）	円			0					
		（うち受益者負担）	円			0					
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
所要人数(再任用)		人									
職員人件費(再任用以外)		円	824,400	831,000	825,000						
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	843,500	850,000	835,500						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成8 年度								
	(2) 環境の変化		市内在住外国籍市民は増加傾向にあり、生活に関わる手続きについての依頼も増加傾向にある。								

事業名称	国際交流事業費 [通訳交流員派遣事業]			
担当部署・課長名	地域振興	課 市民協働・消費（市民協働）係	課長名	石川 正憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	- 通訳交流員の派遣要綱となじまない個人的な依頼であるため、主管課で派遣を辞退したケースがあった。 - 通訳依頼者が当日に急遽キャンセルしたため、通訳交流員の派遣が無駄になったケースがあった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：③		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
	対応可能な言語を増やすとともに、気軽に利用できる事業として充実させたい。			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	- 通訳交流員との日程調整等が必要なため、突発的な依頼には対応できない。 - 外部施設への同行派遣の依頼は、同行職員の確保や通訳交流員の安全確保等の課題があるため断っている。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
	- 依頼された当日中の派遣要請は難しいが、迅速な対応に努めた。 - 依頼された案件の適性を、主管課と地域振興課で見極めた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	- 通訳交流員との日程調整等が必要なため、突発的な依頼には対応できない。 - 外部施設への同行派遣の依頼や、個人的な依頼については同行職員の確保や通訳交流員の安全確保等の課題があるため断っている。 - 通訳依頼者、通訳交流員共に当日のキャンセルを防ぐためにリマインドの連絡をする。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 地域を越えたパートナーシップの確立			
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 現状維持だが、ニーズの多様化に対応できるよう他市における本事業の情報収集や、東京都や国が行っている代替事業の情報収集を行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	どのようなニーズがあるかを随時把握しながら、その問題点にあった必要な調整をしていきたい。			